

令和4年1月 木更津市定例教育委員会会議 会議録

1. 日 時 令和4年1月18日(火) 午後1時00分～午後2時00分
2. 場 所 木更津市役所朝日庁舎 会議室F
3. 出席者 教育長及び委員

教育長 廣部 昌弘
委員 渡部 佳子
委員 豊田 雅之
委員 井上 美鈴

職員

教育部長	秋元 淳
教育部次長兼教育総務課長	平野 義視
教育部参事兼学校教育課長	今井 克彦
学校給食課長	清水佐知子
生涯学習課長	鈴木 和代
文化課長	小高 幸男
まなび支援センター所長	内海 雅彦
学校給食センター所長	竹内 康博
図書館長	森田 益央
郷土博物館金のすず副館長	稲葉 昭智
中央公民館長	水越 学
資産管理課長	小磯 洋子
(会議事務局)	
教育総務課課長補佐	古賀佳代子
教育総務課主任主事	萩原奈央子

4. 傍聴人数 0名(非公開議案2件)

5. 議 案

議案第1号 市議会の議決を要する事件の議案(令和3年度教育費3月補正予算案)について

議案第2号 市議会の議決を要する事件の議案(令和4年度教育費当初予算案)について

6. 報告事項 なし

7. 議事大要

○廣部教育長

定刻となりましたので、令和4年1月定例教育委員会会議を開催いたします。

本日の会議の開催にあたりまして、小寺委員から木更津市教育委員会会議規則第6条の規定により、欠席の届出がございましたのでご報告いたします。なお本日の会議につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により、教育長及び在任委員の過半数が出席しておりますので、会議は成立するものとしこれより開会いたします。

会議録署名人には、井上委員にお願いいたします。また前回、12月定例会議の会議録につきましては、豊田委員と私で、それぞれ確認、署名いたしました。

それでは、議案の審議に入ります。はじめに、議案第1号「市議会の議決を要する事件の議案（令和3年度教育費3月補正予算案）について」を議題に供します。事務局から提案理由の説明をお願いいたします。

○平野教育部次長

議案第1号「市議会の議決を要する事件の議案（令和3年度教育費3月補正予算案）について」ご説明申し上げます。

議案資料2ページをご覧ください。本議案は、令和4年3月市議会定例会に提案する教育委員会に係る令和3年度3月補正予算案につきまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、3ページのとおり令和4年1月17日付けで市長から教育委員会教育長に対し意見の聴取がございましたことについて、木更津市教育委員会組織及び運営規則第5条第10号の規定により、議決を求めようとするものでございます。

それでは、教育委員会に係る3月補正予算案の概要につきましてご説明申し上げます。4ページをご覧ください。はじめに歳入予算につきましては、表の一番下にごございますとおり補正前予算額（予算現額）10億1,076万7,000円であったところ、3億2,233万8,000円を減額し、総額を6億8,842万9,000円にしようとするものでございます。続きまして、5ページをご覧ください。歳出予算といたしましては、表の上段にごございますとおり、50款 教育費の補正前予算額（予算現額）48億1,724万円であったところ、4億33万4,000円減額し、総額を44億1,690万6,000円にしようとするものでございます。

3月補正予算の内容でございますが、各課等における主な歳出の減額分につきましては入札差金等各種事業実施における執行残でございます。詳細につきましては18ページから25ページの△（マイナス）表記のある事業となりますので、ご確認をお願いいたします。

なお特に減額が大きかった事業について一部抜粋しご説明いたします。19ページをご覧ください。50款 教育費、10項 小学校費、5目 学校管理費、説明欄4. 学校維持管理運営費の（2）小学校施設管理費1,932万6,000円の減額につきましては、各小学校の光熱水費の使用実績が当初予算時より少なくなったことによる減、及び、新型コロナウイルスの感染拡大によりプールの授業を実施しなかったことによる維持管理業務、点検等の取りやめによる減額でございます。続きまして、説明欄5. 学校施設改修事業費、（1）金田小学校グラウンド整備事業費6,715万円の減額につきましては、金田西土地区画整理事業の進捗とあわせ学校整備を実施しているものでございますが、土地区画整理事業の進捗が当初見込みより遅延したことにより、今年度実施ができなくなった事業分について減額したものでございます。20ページをご覧ください。続きまして、15項 中学校費、5目 学校管理費、説明欄3. 学校維持管理運営費の（2）中学校施設管理費1,353万1,000円の減額につきましても、小学校施設管理費と同様、市内各中学校の光熱水費の使用実績が当初予算時より少なくなったことによる減、及び、新型コロナウイルスの感染拡大によりプールの授業を実施しなかったことによる維持管理業務、点検等の取りやめによる減額でございます。続きまして説明欄4. 学校施設改修事業費、（2）金田中学校グラウンド整備事業費2

億4,002万1,000円の減額につきましても、金田小学校グラウンド整備事業費と同様、金田西土地区画整理事業の進捗とあわせ学校整備を実施しているものでございますが、土地区画整理事業の進捗が当初見込みより遅延したことにより、今年度実施ができなくなった事業分について減額したものでございます。

続きまして、歳出の主な増額分をご説明いたします。18ページにお戻りください。5項 教育総務費、10目 事務局費の説明欄3. 奨学基金繰出金206万1,000円につきましては、ふるさと応援寄附金の受入に伴い当該基金に積み立てを行うため増額するものでございます。23ページの下段から24ページをご覧ください。続きまして、25項 社会教育費、15目 公民館費の説明欄6. 車両管理費4万円につきましては、各公民館同士の連携事業等による公用車の使用が増加し、それに伴うガソリン給油量が増加したことにより増額するものでございます。25ページをご覧ください。30目 生涯学習まちづくり推進事業費の説明欄1. 生涯学習推進事業費の(2) 生涯学習基金積立金20万1,000円につきましては、主にふるさと応援寄附金の受入に伴い、当該基金に積み立てを行うため増額するものでございます。

最後に債務負担行為のご説明をさせていただきます。別紙債務負担行為(追加)と書かれた資料をご覧ください。3段目、きさらづ特認校児童送迎用バス運行業務委託費1,200万円につきましては、令和4年度当初より実施予定の事業ですが、業者選定等の事務について令和3年度中に実施し令和4年4月より速やかに事業開始できるよう債務負担行為を上げさせていただいたものでございます。なお、具体的な事業内容等については次の議案第2号にてご説明させていただきますが、市内小規模特認校への通学バスを運行しようとする事業でございます。以上が3月補正予算の主な内容でございます。

説明は以上でございます。

○廣部教育長

ただいま、事務局から提案理由等の説明がありました。この件につきまして、ご質問はございますでしょうか。

<質問なし>

ご質問がなければ、ご意見はございますでしょうか。

<意見なし>

ご意見がなければ、採決に移ります。議案第1号「市議会の議決を要する事件の議案(令和3年度教育費3月補正予算案)について」につきまして、原案に対し「意見なし」と回答することに賛成の方、挙手をお願いいたします。

<挙手全員>

賛成全員で原案どおり決定いたしました。

続きまして、議案第1号「市議会の議決を要する事件の議案(令和3年度教育費3月補正予算案)について」を議題に供します。事務局から提案理由の説明をお願いいたします。

○平野教育部次長

議案第2号「市議会の議決を要する事件の議案(令和4年度教育費当初予算案)について」ご説明申し上げます。

議案資料26ページをご覧ください。本議案は、令和4年3月市議会定例会に提案する教育委員会に係る令和4年度当初予算案につきまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、27ページのとおり令和4年1月17日付けで市長から教育委員会教育長に対し意見の聴取がございましたことについて、木更津市教育委員会組織及び運営規則第5条第10号の規定により、議決を求めようとするものでございます。また来年度当初予算につきましては、3月に本市市長選が控えている中、骨格予算と申しますが、市の運営や扶助費等、4月当初から最低限必要な予算のみを計上するよう求められていたところでございます。その他の予算につきましては、新市長が決定後、改めて精査できるよう、来年度6月補正予算に肉付予算として要求していく見込みとなっておりますので、その点ご承知おきくださいますようお願いいたします。

それでは教育委員会に係る当初予算案の概要につきまして、ご説明申し上げます。28ページをご覧ください。はじめに歳入予算につきましては、表の一番下でございますとおり、6億7,616万円で、令和3年度当初予算と比較し、3億2,817万円の減額でございます。続きまして29ページをご覧ください。歳出予算といたしましては、表の上段でございますとおり38億4,490万1,000円で、令和3年度当初予算と比較し4億4,101万3,000円の減額でございます。前年度と比較し大きく減額されておりますが、先ほどご説明しましたように、令和4年度当初予算につきましては骨格予算であること、また、施設改修・整備事業等、大規模工事等の実施の有無によって予算額が変わることをご承知くださいますようお願いいたします。

当初予算の具体的な内容につきましては、30ページから49ページが歳入、50ページから62ページが歳出となります。それでは、歳出予算のうち令和4年度における主な新規事業及び増額事業につきましてご説明させていただきます。

52ページをご覧ください。50款 教育費、10項 小学校費、5目 学校管理費、説明欄4. 学校維持管理運営費の(1) 小学校運営費4,363万2,000円につきましては、市内小学校運営に係る各種経費に必要な予算でございます。各学校にてリースをしている印刷機、電話機について契約期間が終了し、新たに契約を結びなおす必要があり、業者等の精査をなおした結果、単価が大幅に上昇したことから増額したものでございます。53ページをご覧ください。説明欄10. きさらづ特認校児童送迎用バス運行委託事業費1,200万円につきましては、地域の自然や文化を生かした「特色ある学校づくり」を推進する小規模特認校について以前より通学区域外からの転入学を認めているところですが、この度、市街化区域に近い東清小、鎌足小、中郷小について、スクールバスの運行を開始することにより、通学の利便性を高めることで、当該学校に通う児童の増加及び地域の活性化を図るため、新たに計上するものでございます。

56ページをご覧ください。15項 中学校費、15目 学校建設費、説明欄1. 施設建設事業費の(1) 岩根西中学校仮設校舎整備事業費423万8,000円につきましては、老朽化により雨漏り等が激しい岩根西中学校特別教室棟について、プレハブ校舎をリースすることで生徒の教育活動に支障をきたさないよう配慮するものでございます。

56ページ下段から57ページをご覧ください。25項 社会教育費、5目 社会教育総務費、説明欄5. 芸術文化振興事業費の(3) 木更津アートプロジェクト事業費1,000万

円につきましては、市制施行80周年協賛事業として、アーティストと子どもたちを中心に、地域の人々とともに新たな文化・芸術的な価値を創造していくための教育・普及活動の一部として実行委員会を立ち上げ、プロジェクトを実施しようとするものでございます。イベントの詳細については改めて検討してまいります。ワークショップ、アート作品展示等を実施する予定でございます。続きまして、説明欄8. 金鈴塚古墳保護事業費600万円につきましては、本市の文化財である金鈴塚古墳について、墳丘、石室部分の痛みが目立ち、危険性もあることから文化財保護として、復旧・補強工事を実施するための経費でございます。令和4年度につきましては、石室の石積補強工事を実施する予定でございます。

59ページをご覧ください。15目 公民館費、説明欄5. 公民館施設整備費の(2) 公民館耐震対策事業費1, 500万円につきましては、耐震が不足している中央公民館畔戸分館について耐震補強工事及び老朽化改修工事を実施するための経費でございます。続きまして説明欄6. 公民館管理運営費の(1) 公民館管理運営費1億1, 174万3, 000円につきましては、公民館運営に必要な各種備品、維持費等の経費でございますが、主に委託料について、千葉県最低賃金引上げの影響による公民館管理委託料の増、管理人がいない公民館については機械警備を実施しておりますが、その警備費の増、各館の草刈・剪定・害虫駆除の委託料等を増額しております。

続きまして、20目 図書館費、説明欄6. 図書購入費1, 250万円につきましては、図書館の書籍を購入するための経費でございますが、令和3年より子ども読書推進計画に基づき、児童向け書籍の購入資金として継続的な寄附の申し入れがあったことから、昨年度より寄附金額分を増額したものでございます。60ページをご覧ください。説明欄8. 図書館施設整備費の(1) 図書館耐震対策事業費4, 200万円につきましては、平成28年度に実施した耐震診断により、耐震が不足している図書館について、補強工事を実施するため計上するものでございます。

続きまして、27目 博物館費、説明欄4. 博物館事業費の(1) 博物館特別展事業費243万1, 000円につきましては、昨年7月中旬まで工事のため閉館しておりました、郷土博物館金のすずがリニューアルオープンしたこと、また令和4年度で市制施行80周年を迎えることから、木更津市民の所有する江戸時代以前の絵画を一堂に集め、江戸の発展とともに歩んだ木更津の歴史を学ぶ機会として展示会の実施等をしようとするものでございます。

61ページをご覧ください。30目 生涯学習まちづくり推進事業費、説明欄1. 生涯学習推進事業費の(5) 生涯学習バス管理事業費599万7, 000円につきましては、市の生涯学習バスの運行及び管理業務について業務委託するものでございますが、人件費の増により増額するものでございます。

61ページの下段から62ページをご覧ください。30項 保健体育費、20目 学校給食費、説明欄4. 給食関係費の(1) 給食関係費2億8, 437万6, 000円につきましては、給食の提供に必要な各種経費の事業でございますが、衛生用品の単価値上がりや備品の老朽化による機器の購入費として、前年度より増額としたものでございます。

最後に、債務負担行為についてご説明させていただきます。63ページをご覧ください。金田中学校用地取得事業費については、令和5年度に用地の取得及び支払いを予定していることから、その予定額について債務負担行為として計上しているものでございます。

以上が令和4年度における主な新規事業及び増額事業でございます。その他、歳入・歳出予算の内容につきましては、お手数ですがお手元の資料でご確認をお願いいたします。

説明は以上でございます。

○廣部教育長

ただいま、事務局から提案理由等の説明がありました。先ほど、次長の説明でもございましたが、今年度は3月27日に市長選が予定されている中、新市長の施策を反映できるよう、政策的な予算については6月補正予算まで先送りすることとなっておりますので、その点ご承知ください。

この件につきまして、ご質問はございますでしょうか。

○渡部委員

53ページのきさらづ特認校児童送迎用バス運行委託事業費ですが、通学バスを走らせるということでしたが、これは市内のどこからでも通学できるようになるということなのでしょうか。

○今井教育部参事兼学校教育課長

今度の新一年生向けに調査を行ったところ、先ほどの説明にありました東清小、鎌足小、中郷小への区域外就学については、そういったバスがあれば入学を検討したいとのご意見をいただいたところでございます。そのため、予算が確定した段階で広く募集をかけ、市内のどこから希望するのかを踏まえ、路線を決めていく予定でございます。

○渡部委員

調査というお話でしたが、具体的にどういったアンケートを取られたのでしょうか。

○今井教育部参事兼学校教育課長

元来、本市の特認校への就学条件としては、保護者が該当の児童生徒を送迎ができることという条件がついておりました。その条件で構わないという保護者の方もいらっしゃいますし、そういった方とは既にお話を進めております。それとは別に、今回通学バスを出すことで、それなら特認校への就学を考えたいというご家庭に向けて希望を受け付ける予定でございます。

○廣部教育長

先ほど申し上げました調査につきましては、市内幼稚園、保育園の年長者のご家庭向けにインターネットでアンケートをお願いしたものでございます。対象およそ1,200名のうち、有効回答数はおよそ200程度だったのですが、そのうち30ほどの方から、バスが出るのであれば特認校を希望したい旨のご回答をいただきました。あくまで調査段階の話ですので実際に形になったときにまた人数は変わると思いますが、そういった経緯もあり予算を上げさせていただきました。学校が減るということはやはり住民の減少につながることもございますので、そういった面も踏まえ、小規模特認校就学への検討材料の一助となればというところでございます。

ほかにご質問がなければ、ご意見はございますでしょうか。

<意見なし>

ご意見がなければ、採決に移ります。議案第2号「市議会の議決を要する事件の議案（令和4年度教育費当初予算案）について」につきまして、原案に対し「意見なし」と回答す

ることに賛成の方、挙手をお願いいたします。

＜挙手全員＞

賛成全員で原案どおり決定いたしました。

以上で、本日予定しておりました議案の審議を終了いたします。

続きまして、報告事項に移りますが、今月の報告事項はありません。

続きまして、その他の事項につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

【その他、事務局連絡・報告事項】

・令和4年木更津市成人式実施報告

説明：鈴木生涯学習課長

○廣部教育長

その他、委員からご意見等ございますか。

○豊田委員

新型コロナウイルスが再拡大しており、市内小中学校でも感染者が出てきていると伺っております。できれば市内51箇所ある学童保育所等にもその情報をいただけるとありがたいというところがございます。私ども畑沢地区の場合は各小中学校の校長先生の横のつながりもありお話をいただけているところがございますが、万一学校で発生し、濃厚接触者になったことを知らずに学童が預かってしまうと他学年の子どもにも広がる懸念がございますし、保育園の閉鎖等の事態になることも考えられます。もし校長会等を通じてお話いただけるのであれば私どももありがたいと思うのですが。

○今井教育部参事兼学校教育課長

担当の話となってしまいますが、学童の所管課につきましては健康こども部であることから、現在の連絡ルートにつきましては、学校から学校教育課へ、学校教育課から健康推進課、子ども保育課への流れとなっております。最終的な情報は健康こども部へ集まること、また健康こども部も先ほど仰っていただきました学童を経由しての感染には非常に敏感になっておりますので、健康こども部とのやり取りを密にさせていただけるとありがたいと思っております。

○豊田委員

確かに学童も直接学校に問い合わせをすることが多くなっておりますね。

○今井教育部参事兼学校教育課長

学童と学校ですと、直接のやり取りが薄いところがございますので、全ての学校への対応を検討するより、情報が集約された市とのやり取りをしていただいたほうが良いかと思えます。そういった形で、市との情報共有を検討いただけませんかでしょうか。

○廣部教育長

学校でコロナが発生しますと、やはり真っ先に兄弟の有無と学童に通っていたかどうかについては必ず聞き取っているところがございます。その情報が全て健康こども部へ流します。

○井上委員

どなたが聞き取りをされるのでしょうか。保健所の方でしょうか。

○今井教育部参事兼学校教育課長

学校で聞き取りを行っております。学校から当課へ提出される際の様式に兄弟のこと、学童のこと等を記載する欄がございますので、そこに記入をするようにしております。

○廣部教育長

他にご意見ございますでしょうか。

○井上委員

大きく2点ございます。まず1点目、先日の会議の際、市内2つの学校で女の子がズボンの制服を選べる、実際にそうして通学しているというお話をちらっとお伺いしましたが、どういう経緯で取り入れられたのでしょうか。以前お話させていただいたときには、なかなか制服自体を変えるということは難しいといった事情もございましたので、とても嬉しいお話ではあったのですが、経緯をお伺いできればと思った次第です。

○今井教育部参事兼学校教育課長

2校のうち1校につきましては、女の子でスラックスを穿きたいという生徒がおりまして、それをきっかけに規則自体を、どちらを着てもいいといったように変更したと聞いております。その学校は2人の女の子がスラックスを穿いて登校しております。なお、理由につきましてはLGBTQというよりは寒さ、防寒対策として穿きたいといった希望があったということです。

もう1校についてですが、この学校は男子生徒は詰襟、女子生徒はセーラー服の学校です。この子については、今の自分の性に少し違和感を持っており、詰襟の学生服を着たいという個人的な希望が学校にありまして、学校がそれを受け入れ、その子は詰襟の学生服を着ているということです。ただ、色々な問題と申しますか、周りがそれを自然に受け入れる下地が必ずしもできているとは言えないところで、その子自身も悩んだりすることがあると聞いてはおりますが、今のところは自分の希望通り、詰襟で登校しているとのこと。

○井上委員

ありがとうございます。お話いただいた1つめの学校ですが、その制服はブレザーなのでしょうか。そこで男の子が穿いているズボンを選んだということでしょうか。

○今井教育部参事兼学校教育課長

ブレザーなのは仰る通りでございますが、やはり男の子と女の子ですとスラックスの形が少し違うそうです。ですので洋品店に学校のほうから話をしたうえで女の子用のスラックスを用意いただき穿いております。

○井上委員

そうしますと、私はスラックスを穿きたい、いや私はスカートにしたい、といったときにどちらも選べる学校が1校ということですね。そういった学校が増えるとありがたいなあとは個人的には思います。私たちが服装を選ぶときには、寒いからスラックスにしますとか、LGBTQだからスラックスにしますとか特に言う必要はありませんよね。もう1校の形ですと、私は周りからどう思われても関係ないから、詰襟を着たいというよ

うな子だけしか着られないというところがあると思います。詰襟を着ることでカミングアウトしてしまっている状況になりますから。

○今井教育部参事兼学校教育課長

お話としては仰る通りだと思います。ですので、教育委員会といたしましても、12月の校長会議でお話しました1校の学校の事例を説明し、今すぐとは言わないけれどもゆくゆくはそういった方向で進めていっていただきたい、という話を私のほうからしております。中々すぐに反映されるものではないと思いますが、少しずつ変わっていくのではないかと考えております。

○井上委員

分かりました。ありがとうございます。あともう1つですが、心理学的には、自分がLGBTQかどうかというのが分かりにくいといえますか、思春期ですと異性のことが嫌で、女の子なら女の子同士で仲良くなるといったこともありますよね。それがLGBTQなのではなく、単に友愛的な意味で好きというパターンもあります。例えば女の子がスラックスを穿きたいからと言ってその子が即、LGBTQであるという区分けをするのではなく、今後成長するにしたがって変わっていくかもしれない、大人にはそういう視点も必要で、子ども自身もそうしてもらえると自由に考えられると思うんですね。そういったことも踏まえて、決めつけないで見守っていただけるといいなと思いました。

またもう1点のほうですが、これは12月の時点でお話すべき案件だったと思います。有名女優さんがお亡くなりになった事件がございましたよね。恐らく自死の可能性が高いと言われております。有名な方が自死されると、模倣・後追いではありませんが、若者の自殺が増えると言ったことも聞かれますので、木更津市としてはそういったことは特になく、なかったということで良かったですよという確認をさせていただいたかったと思ひまして。現場の先生方もそういったフォロー等をしていただけるとありがたいなあと思ひました。

○今井教育部参事兼学校教育課長

事件・事故についてはございません。大丈夫です。

○井上委員

ありがとうございます。また関連してですが、今月は東大前の刺傷事件もありましたよね。まだ今の木更津市の小中学校は行って授業を受けてというコロナ前と大きくは変わらない、給食は黙食でといったこともあるかと思いますが、直接触れ合える機会がありますけれども、やはりコロナ前と比べてストレスを抱えている子どもは多いのかなと感じております。もともと健康な子、親子関係が良好だったり、友達がいて悩みを軽く話せるような子がいたりする子どもはいいと思うのですが、そうではない子、簡単に相談できないような子どもがどんどん視野が狭くなって行って思い詰めてしまうといったこともあると思います。現場の先生方も色々大変だとは思いますが、目を配っていただけるとありがたいと感じます。

○廣部教育長

最近、似たような事件が多くなっていることは感じております。お話のありました東大の件の他にも愛知の学校内で起こった刺殺事件や、大阪のビル放火事件等も同じ線上

にあるのかなと思います。非行ではない子どもの闇と言いますか、千葉県教育委員会では、このコロナ禍で女子高生の自殺件数が増えているという現状に危機感を感じておりまして、そういったフォローについてもより一層注意していかなければならないと考えています。

○井上委員

少し話が逸れてしまいますが、例えば統合失調症については、思春期・青年期がよく発症する時期と言われております。遺伝・環境色々な要因で発症するのですが、そのうちの一つに環境のストレスがございます。そういう病気の発症があればもちろん医療に繋げることが大事ですし、コロナ禍というのも言ってみればそういう原因の一つだと感じます。お忙しい中とは思いますが、学校のカウンセラーの先生、ボランティアの方などとも連携を取っていただき、子どもの見守りをお願いしたいなと思います。

○廣部教育長

いま子どもと直接接することができる大人がかなり少ないということは感じます。それこそコロナになって、学校外の方との連携は難しくなりました。大人と接する機会が少ないということもそういった原因の一つなのかと感じる場所ですので、そういったことも考えていきたいと思っております。

ほかになれば、その他を終了いたします。

それでは、事務局から次回の教育委員会会議につきまして、連絡をお願いいたします。

○事務局

次回、2月の定例教育委員会会議につきましては、2月15日（火）午後1時00分から市役所朝日庁舎会議室Fで開催いたしますのでよろしくお願いいたします。

○廣部教育長

以上をもちまして、令和4年1月定例教育委員会会議を終了いたします。

会議録署名人 教 育 長
委 員